

みやぎの 明るい選挙

第37号
2025年3月



選挙出前講座の様子（宮城野高等学校）



ホームページでも御覧いただけます。

選挙管理委員会刊行物

GO



編集・発行／宮城県選挙管理委員会・宮城県明るい選挙推進協議会



明るい選挙の実現に向けて

宮城県選挙管理委員会 委員長 **櫻井 正人**

昨年は10月9日に衆議院が解散し、10月27日に衆議院議員総選挙が執行されたほか、県内では4市5町で議会議員や長の選挙が執行されました。

衆議院議員総選挙では、一票の格差を是正するため衆議院議員選挙小選挙区の区割りを見直す改正公職選挙法が適用され、宮城県でも小選挙区の定数が6から5へ減少となりました。また、解散から選挙期日までの日数が短かったこともあり、投票所入場券の発送やポスター掲示場の設置、投票所の運営・管理への対応など、各市区町村選挙管理委員会及び関係者の皆様には御苦勞をおかけしたところでありますが、大きな問題もなく執行されましたことは、日頃からの準備と的確な対応のたまものであり、心より感謝申し上げます。

さて、衆議院議員総選挙における県内の投票率を見ますと、52.16%と前回令和3年選挙と比較すると、3.71ポイント減少しており、全国平均を下回る結果となりました。年代別で見ると特に若年層で低くなっていることを踏まえ、今後執行される選挙に向けては、引き続き教育機関等の御協力を頂きながら、高校生・大学生や子育て世代に対する啓発等に力を入れてまいりたいと考えております。加えて、長期的な観点から投票率を向上させていくためには、主権者教育などの息の長い取組が重要であると認識しております。

県選挙管理委員会といたしましては、明るい選挙推進協議会や地域の皆様とともに連携・協力し、明るくきれいな選挙の実現に向け、今後とも力を尽くしてまいりますので、引き続き御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。



選挙啓発の効果的な実施に当たって

宮城県明るい選挙推進協議会 会長 **佐藤 実**

県民の皆様におかれましては、日頃から明るい選挙の推進に格別の御協力を賜り、心より深く感謝申し上げます。

さて、我々明るい選挙推進協議会は県選挙管理委員会とともに、選挙啓発の取組を行っておりますが、近年の低投票率の状況を打開するには選挙時における啓発のみならず、日頃からの啓発の取組を積み重ねていくことが大切であると認識しております。

選挙啓発の効果的な実施に当たっては、いかに若者に選挙や政治に関心を持ってもらうかが重要であり、選挙管理委員会や教育委員会と連携・協力して、学校における児童・生徒への選挙出前講座などを通じて、早い段階から投票や政治参加に関する意識を育てていくことが必要であります。

令和6年度は、県選挙管理委員会と連携し、選挙出前講座を20校で実施し、主権者教育の充実につなげることができました。また、市区町村選挙管理委員会の皆様には、小中学校のほか、一部の高等学校でも実施いただいておりますので、この場をお借りして感謝申し上げます。

県明るい選挙推進協議会といたしましては、今後も県・市区町村選挙管理委員会の職員の皆様をはじめ、関係者の皆様と連携・協力し、後継者の育成とともに、将来を担う若者のために積極的に活動してまいりたいと考えておりますので、御理解と御協力のほどお願い申し上げます。

若年層への選挙啓発

若年層の投票率向上に向けた取組

社会や政治、選挙とのつながりを意識するきっかけづくりとして、学都仙台コンソーシアムと連携し、加盟大学等において社会課題について考えるワークショップ等を実施し、主に大学生への主権者教育の推進を図りました。

「18歳選挙に関わる高校生と大学生の政治意識について」(宮城教育大学)

「合意形成」と「政治的決定」について身近な問題から考える・議論する」(宮城教育大学)



「選挙についての疑問を気軽に話し合う「選挙カフェ」」(聖和学園短期大学)



「私たちが農山村とかかわるために～酒田と名取の交流から考える～」(尚絅学院大学)



「カフェトーク「選挙に正解はない!？」」(尚絅学院大学長町サテライトプラザ)



高校生に選挙啓発リーフレットを発行

選挙制度の概要や投票の方法などを掲載した「新しい有権者のためのリーフレット」を作成し、県内全ての高校3年生に配布しました。



(公財) 明るい選挙推進協会主催の研修への参加

地域コミュニティフォーラム

日 時：令和6年6月21日
場 所：マリオス (岩手県盛岡市)

市区町村の明るい選挙推進協議会の会員などを対象に、先進事例の紹介や意見交換が行われました。本県からは仙台市明るい選挙推進協議会及び仙台市、石巻市の選挙管理委員会事務局職員が参加しました。

若者リーダーフォーラム

日 時：令和6年9月28日
場 所：コラッセふくしま (福島県福島市)

明るい選挙推進運動の若者リーダーとして、明るい選挙に関する知識を深めるとともに、ワークショップを経験していただきました。本県からは、仙台市の大学生2名が参加しました。

選挙出前講座

将来の有権者である生徒が選挙の重要性について、学習する機会を設けることにより、政治や選挙に対する関心を高めることを目的として選挙出前講座を実施しております。

令和6年度は、高等学校、特別支援学校で実施しました。選挙の制度などを説明した後、生徒、学生の皆さんには、仮想の候補者を対象として、本物の記載台や投票箱を用いた模擬投票を体験してもらうなど、今後、有権者として投票するに当たっての選挙の学習を行いました。

登米高等学校



白石高等学校



農業高等学校



古川工業高等学校



令和6年度 選挙出前講座

(令和7年3月1日現在)

学校区分		学校名	学年	人数	開催日
高等学校	1	宮城県名取高等学校	3年	260名	5月2日(木)
	2	宮城県古川工業高校	3年	236名	7月2日(火)
	3	宮城県亘理高等学校	3年	115名	8月29日(木)
	4	宮城県登米高等学校	2年	42名	9月5日(木)
	5	宮城県白石高等学校	3年	280名	9月10日(火)
	6	飛鳥未来きずな高等学校登米本校	3年	70名	1月7日(火)
	7	宮城県小牛田農林高等学校	2年	194名	1月15日(水)
	8	宮城県宮城野高等学校	2年	235名	1月21日(火)
	9	宮城県農業高等学校	1年	240名	1月22日(水)
	10	宮城県加美農業高等学校	2年	26名	2月7日(金)
	11	宮城県村田高等学校	2年	66名	2月14日(金)
	12	宮城県宮城広瀬高等学校	2年	220名	2月25日(火)
	13	宮城県大河原産業高等学校	2年	225名	2月28日(金)
	14	宮城県仙台第一高等学校	2年	307名	3月10日(月)
	15	宮城県仙台西高等学校	2年	230名	3月14日(金)
	16	宮城県仙台南高等学校	2年	274名	3月19日(水)
特別支援学校	1	宮城県立支援学校 岩沼高等学園	2年	37名	8月29日(木)
	2	宮城県立名取支援学校	3年	24名	8月30日(金)
	3	宮城県立船岡支援学校	2年	11名	12月18日(水)
	4	宮城県立小松島支援学校	2年	70名	12月19日(木)

※参考（過去の実施校数）

実施校数	令和6年度	令和5年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度
小学校	0	0	0	0	0
中学校	0	0	0	0	0
高等学校	16	17	19	17	10
特別支援学校	4	6	4	3	4
大学等	0	1	0	1	2
合計	20	24	23	21	16

令和6年度 明るい選挙啓発ポスターコンクール入賞作品

小学校の部

第1位

柴田町立東船岡小学校5年

森 妃花 さん

講評

キャッチコピーを虹色で表現し、全体的に明るい色調で、折り紙を用いて立体的に画面を構成しています。子供たちが思い描く明るい未来の創造のためには、投票における国民1人1人の1票が大切であることが力強く感じられる作品です。



第2位

名取市立ゆりが丘小学校6年

小澤 碧音 さん

講評

全国各地で生活している人々の願いを、それぞれの地域の名所や特産物、キーワードで表現しています。画面全体からキャッチコピーの「日本国民の願い」をイメージさせ、選挙の大切さを訴える作品です。



第3位

塩竈市立第三小学校6年

山崎 想音 さん

講評

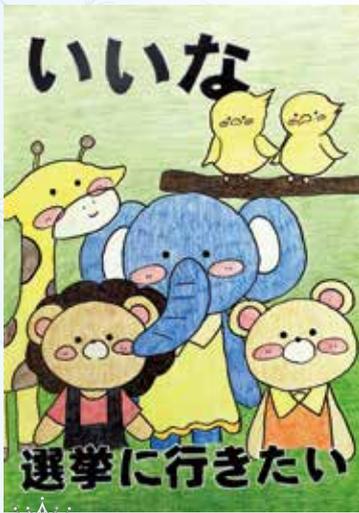
家族が投票用紙を手に目指しているのは、1人1人の思いで彩られた明るい未来。虹の中に浮かぶ風船には、赤ちゃんからお年寄りの笑顔あふれる生活の様子が表現され、選挙に参加することの大切さを感じさせる作品です。

中学校の部



塩竈市立第一中学校3年
齋藤 泉水 さん

講評 中央に大きく描かれているのは、きらきらと輝く明るい未来への乗車券です。キャッチコピーの「選挙権は未来への切符」のとおり、これからの社会の担い手である若い世代に、より主体的に社会参画してほしいという作者の願いが、柔らかな色彩で表現された作品です。



講評 子供や大人の視点ではなく、動物の視点から国民の選挙を見つめています。パステルを用いて柔らかな色調で描かれた動物たちからの声「いいな 選挙に行きたい」から、人間だからこそできる「選挙」のよさを改めて考えさせる作品です。



講評 宇宙から見た地球、そして日本の列島の上に浮かぶ大きな投票箱が、キャッチコピーの「未来」を想像させます。国民1人1人の1票の大切さを感じさせる作品です。



大河原町立
金ヶ瀬中学校1年

阿部 莉奈 さん



利府町立
利府西中学校3年

千葉 陽彩 さん



講評 縦と横の二つのキャッチコピーが、「選」という文字で交わり、投票用紙を手に、輝く空を見上げる少女の笑顔が描かれています。若者に主体的に社会参画してほしいという作者の願いが強く伝わってくる作品です。



講評 1人1人が持っている投票用紙を組み合わせ、多様な色彩で形作られた日本列島を投票箱の上に描いています。キャッチコピーのとおり、人々が協力し、選挙でよりよい未来を創っていこうという作者の思いが表現された作品です。



東松島市立
鳴瀬未来中学校2年

太田 実伶 さん



大崎市立
三本木中学校2年

高橋 由衣 さん

高等学校の部



宮城県古川工業高等学校3年
千葉 琥珀さん

講評

ストレートに表現されたキャッチコピー「18歳 選挙に行こう」や、後ろを振り返りながら、手を引く少女の笑顔からは、国民の権利である選挙の大切さと若者の政治参画への意識の向上を図ろうとする作者の思いを強く感じさせる作品です。

講評

声を大に、人々に呼び掛ける女の子が油絵タッチで表現されています。2つのキャッチコピーを用いて、「選挙いくよ」という作者の強い思いを、更に日本中に広げたい、届けたいという願いが強く伝わってくる作品です。



宮城県宮城野高等学校1年
石井 真実さん



宮城県宮城野高等学校2年
安原 彩華さん

講評

鮮やかな色彩とコントラストが印象的なデジタルイラスト作品です。画面中央に大きく描かれた投票用紙とキャッチコピーから、投票における1票の大切さを感じさせる作品です。



第17回

明るい選挙啓発標語募集に係る入選者一覧

最優秀賞(1点)

投票は 未来を創る 意思表示

岩沼市立玉浦中学校 2年 長沼 大殊 さん

優秀賞(9点)

投票は 大事な私の 意思表示

塩竈市立月見ヶ丘小学校 5年 小山 桜音 さん

さあいこう 未来を変える 投票へ

多賀城市立城南小学校 5年 佐々木輝真 さん

批評より 行動しよう 投票だ!

古川学園高等学校 2年 佐藤 日和 さん

候補者に 私の「押し」を 見つけよう

宮城県古川黎明中学校 3年 千葉 隆杜 さん

子や孫の 笑顔を想い 票投す

- - 中居 信浩 さん

ぼくもいく 18さいで どうひょうへ

大和町立吉岡小学校 2年 布川 榛真 さん

ぼくたちの みらいに一ぴょう たのしみだ

登米市立東郷小学校 2年 三浦 瑛琉 さん

届けよう 君の想いを 未来へと

七ヶ浜町立汐見小学校 6年 山崎 千乃 さん

君の一票 輝く未来の 架け橋に

亘理町立逢隈中学校 2年 吉田 咲 さん

佳作(14点)

その思い 投票しよう 自分のために

多賀城市立東小学校 6年 相澤ななみ さん

時間だよ 未来を変える 投票だ

美里町立不動堂中学校 2年 阿部 匠真 さん

有権者 未来を変える ヒーローだ

七ヶ浜町立汐見小学校 6年 内海 汐莉 さん

その選挙 見るだけでは 動かない

角田市立北角田中学校 1年 笥 莉央音 さん

その一票 日本を変える 切り札だ

大崎市立古川第二小学校 5年 加藤 碧人 さん

小さな一票 積もり積もれば 大きな力

岩沼市立岩沼西中学校 1年 鎌田明花莉 さん

もったいない 尊い一票 捨てちゃうの?

岩沼市立岩沼西中学校 1年 川崎 遥真 さん

そのいっぴょうに いいね しよう

登米市立佐沼小学校 1年 佐竹 惺彩 さん

代表者 決める私たち 選挙の主役

色麻町立色麻学園 6年 高橋 衣愛 さん

大事な一票 未来のため 私達のため

石巻市立山下小学校 6年 千葉 紫桜 さん

投票用紙 自分が大人になった 証

加美町立中新田中学校 3年 堀川 優杏 さん

投票日 一人一人が 大事な日

東松島市立矢本西小学校 4年 水野 羽湖 さん

よく悩め みんなの未来 かかっている

名取市立みどり台中学校 2年 吉川 偉織 さん

届けよう あなたの気持ちが 未来をつくる

石巻市立石巻中学校 3年 渡辺 有美 さん

臨時（選挙時）啓発推進事業

第50回衆議院議員総選挙啓発事業

啓発ポスター



広告塔



啓発ポケットティッシュ



◎選挙時における街頭・イベント啓発等について

1 民間企業及び教育機関等啓発物資発送

県内の選挙啓発サポーターに登録している団体に自発的な啓発活動のサポートとして、啓発物資（ポスター、チラシ、ティッシュ）を送付しました。



【選挙啓発サポーターによる実施の様子】

2 模擬投票イベント

主に若年層への訴求を意識し、気軽に行ける会場で“投票すること”の容易さを体験していただくイベントとして期日前投票所となっているアエルで開催し、投票いただいた方にはオリジナルシールを配布しました。

10.27日 午前 7:00 ~ 午後 8:00
*各区町村によって異なる場合があります

第50回衆議院議員総選挙 投票は18歳から

今和的投票講座
投票イロイロ、想いは届く!

両手投票 ノールック投票 シンクロ投票

期日前・不在者投票 期日前投票期間 10.16(水)~10.26(金) 午前 8:30 ~ 午後 8:00
*各区町村によって異なる場合があります



みんなで投票。みんなで参加。
あなたの一票大切に

